

2018年2月8日

「マツダ CX-5 助手席リフトアップシート車」を商品改良

—新たに「20S 助手席リフトアップシート車」をラインナップ—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、「マツダ CX-5 助手席リフトアップシート車」を商品改良し、全国のマツダの販売店を通じて本日より予約を開始し、3月8日に発売することを発表しました。



「マツダ CX-5 25S 助手席リフトアップシート車」¹

この「CX-5 助手席リフトアップシート車」は、本日予約を開始し、3月8日に発売する「マツダ CX-5」商品改良車をベースに、助手席シートが回転し昇降するリフトアップ機構を採用しています。付属のワイヤレスリモコンやシート両側のスイッチ操作で、ご高齢の方やお身体の不自由な方の乗り降りのサポートのみならず、スカートや和服を着ている方も裾を乱すことなくスムーズに乗降いただけます。

また今回の商品改良で、新たな機種として「20S 助手席リフトアップシート車」をラインナップ。よりお求めやすい価格でご提供できるようになりました。また「360°ビュー・モニター」もメーカーセットオプションで設定できるようになり、駐車時や狭い道でのすれ違い時、見通しの悪い交差点進入時でもより安全な運転をサポートできるようになりました。

マツダは、技術開発の長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言 2030²」にもとづき、クルマの持つ魅力である「走る歓び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることを目指しています。マツダはお身体の不自由な方などの移動手段の不足を「社会」の課題のひとつとしてとらえ、また、人や社会との直接的なかわりが希薄になることで増すストレスを「人」の課題として認識しています。福祉車両の開発においても、単なる移動手段に留まらず、クルマの運転を通じてより多くのお客さまに自由に移動すること、運転する楽しさ、「走る歓び」を体験いただける機会を提供することで、心豊かな人生を味わっていただけるよう、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指し、今後も福祉車両の開発を進めてまいります。

■ メーカー希望小売価格（消費税抜き）は以下の通り

(*写真掲載のモデル)

機種	エンジン	駆動	ミッション	メーカー希望小売価格 消費税抜き(非課税)
20S 助手席 リフトアップシート車	SKYACTIV-G 2.0	2WD	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,840,000 円
25S 助手席 リフトアップシート車	SKYACTIV-G 2.5	4WD		3,050,000 円*
XD 助手席 リフトアップシート車	SKYACTIV-D 2.2	2WD		3,130,000 円
		4WD		3,340,000 円

- 助手席リフトアップシート車は福祉車両のため消費税非課税商品です。購入時にリサイクル料金 12,860 円が別途必要です。
- 助手席リフトアップシート車は持ち込み登録です。20S 助手席リフトアップシート車は登録時に「算定燃費値取得済証」を検査窓口に提出し、改造車等燃費算定番号および区分番号が認められた場合、ベース車両同様の優遇税制が適用となります。XD 助手席リフトアップシート車は次世代自動車であるため、環境対応車普及促進税制対象車として取得税、重量税の軽減措置が適用されます(取得税の減税は平成 30 年 3 月 31 日まで、重量税の減税は平成 30 年 4 月 30 日までに新規登録した場合。これ以降に新規登録した場合の減税レベルについては、販売店担当者にご確認下さい)。
- 特別塗装色「スノーフレイクホワイトパールマイカ」を選択した場合、30,000 円高(消費税抜き、非課税)となります。
- 特別塗装色「マシーングレープレミアムメタリック」を選択した場合、50,000 円高(消費税抜き、非課税)となります。
- 特別塗装色「ソウルレッドクリスタルメタリック」を選択した場合、70,000 円高(消費税抜き、非課税)となります。

- *1 写真掲載のモデルにはショップオプションとして「アクリルバイザー」「マッドフラップ(フロント/リア)」が装着されています。
- *2 2017 年 8 月発表。「地球」、「社会」、「人」のそれぞれの領域における課題を認識し、解決を目指す技術開発の長期ビジョン。「美しい地球と心豊かな人・社会の実現をマツダの使命ととらえ、クルマの持つ価値により、人の心を元気にすることを追究し続けます。」
- 「地球」領域： 環境保全の取り組みにより、豊かで美しい地球と永続的に共存できる未来を築いていきます。
 - 「社会」領域： 安心・安全なクルマと社会の実現により、全ての人が全ての地域で自由に移動し、心豊かに生活できる仕組みを創造し、築いていきます。
 - 「人」の領域： 「走る歓び」にあふれたクルマを通じて、地球を守り、社会を豊かにすることで、人々に心の充足を提供し、心を健康にします。

以 上